



令和4年度 いじめ防止標語コンクール



思いやりみんなでもって いじめゼロ

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

青森県立八戸高等学校 中学部3年 松沢 宏人
※受賞当時の学校と学年です

青森県選手団の活躍紹介!

特別国民体育大会が、令和5年10月7日から10月17日(会期前開催9月16日から9月24日)

鹿児島県鹿児島市を中心に開催されました。本県からは33競技、514名の選手・監督等が参加し、14競技34種目において入賞しました。

「特別国民体育大会にかけた思い! 2026年あおもり国スポに向けて!!」
と題し、選手たちの熱いメッセージを紹介します!



陸上競技 成年女子 ハンマー投 優勝



村上 来花 選手 所属:九州共立大学(強化指定選手)

今回の特別国体は私自身初めての国体となる試合であり、すごく楽しみにしていました。昨年は膝のコンディションが悪く棄権した分、今年はいつもお世話になっている青森県に貢献出来るよう、今シーズンは怪我に十分注意を払いながら練習を積んできました。2年後の2026年にはあおもり国スポが開催されますが、こちらにも是非出場出来るよう精一杯頑張って参りたいと思っております。

地元開催は地元の方々の温かさを感じながら楽しい試合になるよう、自分自身の競技力を向上させ準備を進めていきたいです。応援よろしくお願ひいたします。



バドミントン競技 少年男子 団体 第2位

今田 竜大 選手 所属:青森山田高等学校(強化拠点校)

私にとって特別国体が高校最後の大会なので、青森県のためにも優勝したいという気持ちが強かったです。1回戦から厳しい試合が続きましたが、準優勝という結果でした。優勝を目指していたので悔しい気持ちもありますが、青森県のために最後まで全力で戦えたので悔いはありませんし、青森県に良い報告ができたと思います。2年後にあおもり国スポが行われるため、今大会をきっかけに、青森県のバドミントン競技を盛り上げることができたら嬉しいです。

田中 陽樹 選手 所属:浪岡高等学校(強化拠点校)

これまで出場した全国大会では決勝の舞台に一步届かない結果が続いたので、今回の特別国体では決勝の舞台に立つと意気込んで、試合に臨みました。県内で優勝を争ったライバルと今回はチームを組むことができ、仲間だと思うと心強く、精神的にも余裕を持って試合ができました。目標である決勝の舞台に立つことはできましたが、準優勝という結果だったので、あおもり国スポでは、さらに実力をつけて青森県のために活躍したいです。

菅原 海斗 選手 所属:浪岡高等学校(強化拠点校)

特別国体では、青森県のために優勝を目指しました。昨年は、1回戦負けで悔しい思いをしたので今年こそ優勝という思いがありました。その結果惜しくも優勝することはできませんでしたが、代表として準優勝という結果を残すことができたことを誇りに思います。あおもり国スポでは、準優勝という結果を超えるように、また一から練習し、優勝できるように頑張ります。



空手道競技 成年男子 形 第4位

岡本 拳 選手 所属:青森県競技力向上対策本部

今回の特別国体では、この大会の開催にご尽力いただいた鹿児島県の皆様、日頃からサポート、支えて頂いている青森県競技力向上対策本部の皆様、関係者の方々に感謝の気持ちを忘れずに試合に臨みました。自分の中で昨年の12月に怪我の影響で鞄帯の手術を行っており、それから半年間競技を離れ、リハビリに打ち込み、年初めての全国大会だったので緊張もありましたが、自分を信じて、思いっきり競技を楽しむ気持ちを忘れず形を打つことができました。

久しぶりに入賞できた喜びと同時にやはり優勝できなかった悔しさを感じ、まだ成長できると実感しました。また、2026年青の煌めきあおもり国スポに向けて、人が感動する形を打てるよう、現状に満足せず日々の稽古に打ち込んでいきます。応援の程よろしくお願いします。

2年後の2026年は
青森県で国スポ開催!

青の煌めきあおもり国スポ
2026 翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会



左側 類家選手(優勝の瞬間!)



左より、
戸祭監督、今田選手、田中選手、菅原選手



選手の活動状況や各種大会成績等を各SNSで配信中!
フォロー・いいね・リポストをお願いします!



問合せ

競技力向上対策本部

(スポーツ健康課・競技力向上対策室) TEL.017-734-9924

